

職員による自己評価

A環境面

職員の配置は時々状況によっては足りないと感じることがある。

B児童への支援内容

個別の対応について職員間で検討、話し合いを行っている。

役割分担などその日に行われる活動について確認している。

C関係機関との連携

学校・保護者とも連携を図り、児童の課題や普段の様子について情報の共有を行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

事業所の支援内容について保護者へ説明を行っている。

E非常対応

災害に備えて、日頃より避難訓練を実施している。

保護者による評価

A環境面

活動スペースは十分確保されている

B児童への支援内容

面談で本人の目標・課題を確認し合い作成した。放課後クラブなど、外の児童と関わりはない。保護者会は開催されていない。

C事業所からの情報発信

日々の活動の様子は、画像なども合わせて分かりやすく発信されていて、以前より細かい様子が分かる様になっている。

D非常対応

緊急時のマニュアルの配布は行われている。

事業所内での分析

【共通点】

日々の活動の様子が伝わっている。適切な支援が行われるように情報共有が行われている。

【相違点】

支援環境について分からないとの回答があった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

保護者と職員間で学校や日々の状況について共有し、個別支援計画に反映出来ている。また、児童それぞれに普段の個別の対応にも生かすことが出来ている。

事業所の改善点

事業所の環境について見学の際に見ただけで、よく分からないとの回答があった。今の状況を踏まえて、どの様に知ってもらおうか検討する必要がある。

事業所の改善への取り組み

実際に見に来なくても環境が分かる様なツールを考え、発信し周知していく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

きちんと伝えている、伝わっていると感じていても実際は解釈の違いもあり十分に知ってもらえていないことが分かった。現状に満足せず、常に情報の共有を行い対応していきたい。